



# 兵庫支部NEWS 令和3年12月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)  
兵庫支部ブログ <http://blog.goo.ne.jp/ninom45> メール:7347oabk@jcom.zaq.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)  
購読のお申し込みは郵便振替  
振替口座:00970-5-236766  
口座名:兵庫支部NEWS

## コロナ収束・支部活動開催を望み 久々の飲み会「望年会」を開催



(安徳、平間、永翁、高山、松尾、牛丸、名越、大村、濱田、久芳、真島)

9月30日緊急事態宣言が解除されたが、兵庫県は県独自の感染防止対策を10月21日まで実施し、さらに10月22日から飲食店などでの人数制限を緩和した。兵庫県内の感染者数も20人前後、時には一桁と減少傾向にある中、役員や同好会会員の有志による呑み会開催を希望する声上がり、12月10日(金)午後5時から「三金会」定例会会場の居酒屋「おうみや駅前店」別室に11人が参加者して「望年会」が開催された。

クエ鍋を囲んで久々に解放感に浸りながらの歓談、落ち着いたところで各自3分程のスピーチで近況報告

参加者

- 写真上、久芳健二、S44中国
- (左から)真島秀幸、S48経営
- 安徳信義、S44商
- 高山行雄、S45米英
- 高山行雄、S45米英
- 写真右上、平間正昭、S37商
- (左から) 永翁正臣、S41商
- 濱田勝義、S44米英
- 写真右下、松尾祐嗣、S45経営
- (左から) 牛丸敬孝、S51中国
- 名越英昭、S37米英
- 大村実良、S33商



## 兵庫支部月例会

### 「囲碁の会」12月例会

毎月第3金曜日に開催される「囲碁の会」は、今年7月に再開後は継続して開催されています。

12月例会は12月17日(金)午後2時ごろから先着順に碁盤を囲み対局を始めた。



(名越、山本、平間、安徳)

遅れて到着した平間囲碁の会会長は、囲碁雑誌の段級位認定テストのコピーを持参し参加者に配布。これから6か月継続して挑戦して自分の力を試すことになる。

### 「三金会」12月例会

昭和61年10月に兵庫支部が発足した直後から、「三金会」が開催されており、支部総会以外では最も古い支部行事である。一時は10人、20人と参加者も多く賑やかでしたが、最近は5~6人と少なくなって寂しい限りである。いつの日かコロナも終息して、かつての賑やかさを取り戻したいものだ。



(安徳、大村、名越、平間)

## 兵庫支部月例親睦会「三金会」会場ご案内

### 居酒屋「おうみや」駅前店

神戸市中央区琴ノ緒町5-3-5グリーンジャポールビル1F

JR三ノ宮駅東口北出口(山側)道路を挟んで向かいのビル1

「開催日時」 Tel.078-221-3115

毎月第三金曜日  
午後6時~8時予定

### 会費

約3000円(男女とも)

(実費割り勘)



## 「囲碁の会」定例会

毎月第3金曜日午後2時~午後5時半

会場: 阪急囲碁クラブ(写真右)

JR高架下飲食街2F、

阪急神戸三宮駅西口寄り

Tel.078-331-1303

会費: クラブ料金制度に基づく

入場料: 700円

対局料: 1局50円(敗者負担)

初心者歓迎! 気楽にお出で下さい!





江藤幸嗣氏(S50国文)木版画集 第32回(作品No.237)

おむすび大好き♡ I Love を結び

三村晴美(S60経営)

チーズチキンの焼きおむすび

第98回は「チーズチキンの焼きおむすび」です。手作りのサラダチキンの残り物アレンジレシピです

<材料>

- ご飯……
- …茶碗一杯
- サラダチキン…30g
- とろけるチーズ…1枚
- 塩……………
- …お好みで適量

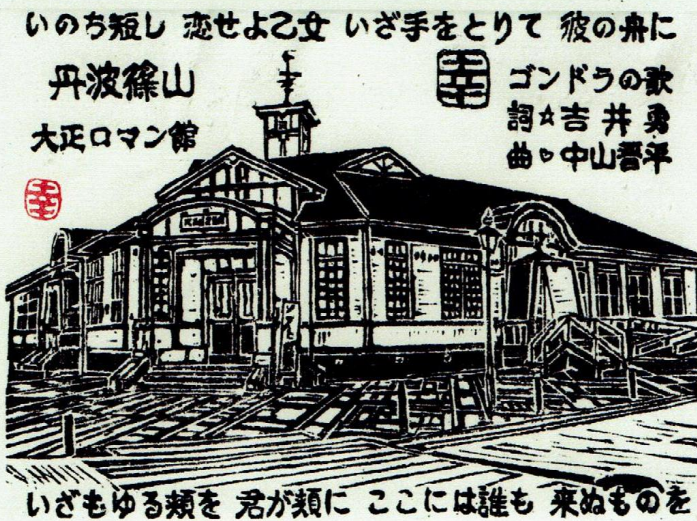


<作り方>

1. 茶碗一杯の温かいご飯を二等分し、お好みで塩をまぶし、まるく握って耐熱皿に置く。
2. サラダチキンのスライスを半分にし、1の上にトッピングする。
3. 2にとろけるチーズを二等分し、かぶせる。
4. 3をトースターで焼き目がつくくらい、約4分焼く。

<サラダチキンの作り方: 材料2人分>

1. 鶏肉1枚(約250g)をフォークさす。
2. 保存袋に酒大さじ1, 砂糖小さじ1, 塩小さじ1/3, コショウ少々, 鶏ガラスープの素小さじ1を入れて揉み込み、冷蔵庫で一晩おく。
3. 鍋にたっぷりのお湯を沸かし、2を入れてふたをし、火を止めて50~60分以上おく。取り出して食べやすい大きさに切る。



丹波篠山・大正ロマン館

題材は高校駅伝・兵庫県大会の出発地点です。R3/11/07当地サンテレビで放映されました。禁足令が解かれたこともあり、観光客で賑やかでした。R3/11/10現地撮影、意外に盛況。ネット写真にあった樹木が無かった；ランチ・日本酒小瓶・栗など小判ぶるまい。仕上げに時間がかかりましたが、上出来な印象。

作者江藤幸嗣氏から兵庫県学校厚生会の広報紙「厚生会だより・ふれあい」に最近掲載された記事の写しが送られてきた。転載可否を打診したところ、早速、学校厚生会に連絡され、承認をとっていただいたので下記の通り皆様にご紹介させていただきます。

あの人この人

いろいろな分野で活躍中の会員さんをご紹介します



江藤 幸嗣さん (姫路市在住)

感謝の木版画はがきが深めた縁



版材に彫いた有馬筆の工房を描いた木版画はがき

木版画で季節の便りを出し続けて46年という、元高校の国語教師の江藤幸嗣さん。国宝姫路城や旅先で自にした風情ある建物のほか、顧問をした演劇部の生徒たちや家族などの人物を題材に作品を手がけ、その数は今年、2300点に達した。

木版画を始めたきっかけは、教師になった年の年賀状。

「お世話になった先輩や同僚や知人に、年始のご挨拶は心のこもったものにと考えたが、100人ほどいましてね。文字に自信がない私がすべてに一言添えるのは大変で、版画に挑戦しました」

丸刃とカッターのみで彫り上げる自己流だったが、それをきっかけに、学校通信の挿絵を頼まれたりするようになった。

た。そして、退職までに3回の鶴展を開き、姫路城の作品は姫路郵便局のオリジナル絵はがきにも採用された。

退職で、職場の方への挨拶状という役目が終わったのを機に全作品を本にまとめ、それを区切り木版画をやめる予定だった。しかし、しばらくすると作品の構想が浮かび、気がつけば道具を手にして、作り始める時が一番楽しい瞬間で、次はきつといい作品ができるというワクワクした気持ちになるんですと、現在もマイペースに彫り続けている。

木版画はあくまでもはがき用。季節の挨拶や近況報告として、全国の知人に送っています。お返事をいただいで縁が深まる喜びもありますし、これからも続けたい」と笑顔を見せる。

「厚生会だより・ふれあい」(兵庫県内の教育関係者・現役四万人、退役三万人に配布されているそうです)に掲載されました。

私はS50姫路工業高校に採用、S56赤穂、S59姫路東、H3姫路南、H11龍野、H19姫路東、H30再任用を経て退職いたしました。

これまで多くのご援助を有難うございました。



ショートショート

生まれ返り

桜田 靖

関西で学生暮らしをしている息子と娘が冬休みで帰省したら、毎晩夜更かしで急に家中がにぎやかになった。私も仕事納めで一息、食後の団欒で子供達と『野菊の墓』のホームビデオを鑑賞した。

「わたし何でも野菊の生まれ返りよ」

「道理で民さんは野菊のような人だ」

幼い政夫と年上の従姉民子の淡い恋の芽生えが無残に蕾のままに散る物語だった。遠い時代の話とは言え子供達も見終わってセンチな気分になっていた。

「わたし生まれ返ったらミミズになりたいな。泥の中で土を食べて暮らすだけで楽ちんでしょう」と娘が口を開いた。

「姉さん、捕まったら魚釣りのエサになるぞ。オレはライオンかセイウチか猿のボスの生まれ返りがいいな。毎日威張って種付け暮らしだぜ。たまらないだろう」ち息子が言った。「だが、いずれ若くて強いオスが現れ、惨めに老いぼれは追っ払われるだけだ。自然界の掟は厳しいぞ」と私は息子を諭してやった。「じゃあ、父さんは何に生まれ返りたいのさ」と逆に言い返された。「そりゃ、次は神様になるさ」と酒の酔い軽口をたたいた。

「超絶ムーリー」と子供達にからかわれた。

「わたしはエリザベス女王みたいな人に生まれ返りたいな」と妻が口にした。



(遠賀川)

「ありえへ〜ん」と

息子と娘と一緒に笑った。「何んば言いよっとね。ちよこっと関西に住んだくらいで。あんたたちは直方育ちの川筋もんたいね。遠賀川のフナにでん生まれ返らんしゃい。昆布巻きにして食ってやるからね」と妻は筑豊生まれで気が短かった。(終)

桜田靖氏：本名小島吉晴、S40米英



旧小倉市船場町生まれ、戦時中の疎開により大分県別府市と佐賀県小城市小城市で育った。大卒二期生として警察庁に採用され、本庁を中心に外事公安警察に従事した。五十を前に起業したがバブル崩壊で、大手ビルメン会社の大成サービス(株)の警備管理業トップとして迎えられ定年まで勤務した。

(桜田氏近影) 後は世田谷サービス公社の危機管理などの専門員として勤務しながら、「桜田靖」のペンネームで執筆を始め、「幻の川」が北九州市自分史文学賞(今は林芙美子文学賞)に入賞した。以後、電子図書出版社と契約して、「海の見える街角」など30冊を世に出して現在に至る。

本紙平成20年10月号で「幻の川」を紹介させていただいたご縁で、その後「海の見える街角」H24.07「花冷えの都パリ」H30.09「哀愁の都」H31.01「星影のセレナーデ(一)(二)H31.04「星影のセレナーデ(三)R01.07「星影のセレナーデ(四)H01.09「ビイデイデの紅い花」HR02.03「荒城の地切れ雲」R02.7

第241回「歩こう会」1月例会ご案内  
第5回グルメ旅・インドネシア料理

グルメ旅、ふらっと歩いて世界一周

Gourmet trip, easy walking around the world

미식 여행 편하게 걸어 세계 일주

美食之旅, 轻松环游世界

Chuyến đi dành cho người sành ăn, dạo quanh thế giới

Perjalanan gourmet, jalan-jalan keliling dunia

ທຣີປູດ໌ເມັດ ເດີນຮອບໂລກ

Perjalanan gourmet, berjalan di seluruh dunia

ដំណើរទេសចរណ៍, ដើរជុំវិញពិភពលោក

Gourmet ခရီး၊ ကမ္ဘာပတ်လမ်းလျှောက်ခြင်း

ການເດີນທາງ Gourmet, ຍ່າງໄປທົ່ວໂລກ

Viaje gourmet, paseo fácil por el mundo.

पेटू यात्रा, दुनिया भर में आसान चलना

رحلة الذواقة ، من السهل المسيبي حول العالم

開催日時：令和4年1月9日(日)午前11時半

集合場所：JR三ノ宮駅中央改札口北側(山側)

行先：BUMBU Kitchen Tel.078-252-9616

神戸市中央区琴ノ緒町5-7-10宮元ビル1F

参加申込：令和4年1月5日(水)まで

申込先：安徳信義(S44商)

Tel/Fax 078-917-1367 ケイイ090-3718-9204

E-mail:antoku@ethnic.co.jp

- ・新型コロナVirus感染予防の為、各自対策をお願いします。
- ・飲食代は各自清算。
- ・食事の後、希望者で生田神社参拝予定

BUMBU Kitchen

インドネシア中部ロンボク島出身シェフのユスフ・デビハンさんと妹尾純子さんのご夫妻が営むインドネシア料理店。平成30年8月6日神戸で開業。コロナ禍で休業を余儀なくされ、令和2年8月25日現在地に移転リニューアル。インドネシア料理の味を多くの人に知ってもらいたいと開業。



(店舗正面)



(店内風景)

「大楠のごとく」R02.11「鬼のうか三代記」R03.04と著作を紹介している。

平成24年5月と平成29年10月の「三金会」に出席され、兵庫支部との交流を図られた。

最近のコロナ禍で支部行事が停滞している中、掲載記事の不足を補う精力的に投稿をしていただき、なんとか4ページ建て発行を維持出来ていることは読者の皆さんがご存知の通りです。

著作は電子出版されているのでアマゾンなどで購入よろしく応援お願いいたします。



第240回「歩こう会」12月例会

第5回西国街道ウォーク

郡山宿本陣(茨木市)→阪急桜井駅(箕面市)約8.5キロ

12月12日(日)阪急茨木市駅に午前10時前に集合したのは、牛丸敬孝(S51中国) 安德信義(S44商) 濱田勝義(S44米英) 松尾祐嗣(S45経営) 及び名越英昭(S37米英)の5人。

駅前のバス乗り場へ、間違って反対方向に出て、あわてて引き返し、所定の2番乗場で待機するも出発時間が過ぎてバスは来ず。1番乗場に停車中のバスの運転手に問合せ、乗場の変更を知り、どうにか次便の10:33発(予定は10:11だった)に乗車して出発地の郡山宿本陣へと向かった。

前回郡山宿本陣がゴールだったが、内部見学は中止されていた。今回も見学は不可、今も当主のご家族が居住されておりコロナ禍が完全収束するまでは無理らしい。正門脇の椿の大樹があり「椿の本陣」と呼ばれている。



(郡山宿本陣)



次の宿場瀬川・半町宿へ向かってまずはウォーキング開始。(写真左)

勝尾寺川に架かる鍛冶屋橋、山下橋を渡り西へ進む。大鳥居である。この大鳥居をくぐって勝尾寺にお参りするということだろう。(写真右)



西へと進み、大阪モノレール彩都線豊川駅の下をくぐり、更に進むと右手に春日神社御旅所があり、左角に楠木正成公が湊川に向かう途中喉を潤した場所という「楠水龍王」堂がある。(写真右) お堂の前の道標に「左京ふしみ道」と表示されている。

この辺りの西国街道は旧道



らしく約2間幅の道が続いて両側には大きな屋敷が並び、趣のある街道である。(左)

やがて右手に大きな鳥居が見える。勝尾寺表参道を示す

大鳥居である。この大鳥居をくぐって勝尾寺にお参りするということだろう。(写真右)



すでに正午を回り昼食場所を探さなくてはならない。今回は弁当持参せず外食を決めているのだ。箕面緑地公園を過ぎた辺りで通りすがりの人に尋ねて、少し引き返して国道に出るとあるという。業務スーパーの横を通り抜けて、



国道に出ると「牛楽」の看板が見えた。(左)

昼食場所と決め入店する。注文した品はベルトコンベアで席の横まで運ばれてくる。外食機会が少ない筆者にとっては物珍しく戸惑うばかり。

グルメ通の安德氏にメニュー選びその他すべてお任せして、全員同じ定食を発注、安德氏と筆者はビールも発注し、ベルトコンベアで運ばれたハラミとか中落ちカルピなど早速焼き始めた。(右上)



昼食時間約1時間。元気を取り戻したところで緑地公園まで引き返し再び西国街道ウォーク。西宿2丁目の交差点で国道171号線と合流。萱野4丁目交差点で左折して旧道へ戻り



暫く進むと萱野三平旧邸に到着した。(左)

早速入場。無料。萱野三平は浅野内匠頭の刃傷事件を知らせるため早駕籠で江戸から4日間で赤穂へ走った人で、西国街道沿いの萱野邸を通過する際に偶然に母親の葬儀の列に出会ったが、「お家の一大事」とそのまま赤穂へ向かったという。

その後仇討の仲間に加わろうとしたが父親の反対に主君への忠義と父への孝行の板挟み悩み自刃して27年の生涯を終えた。辞世が残されている。「晴れゆくや 日ごろの心の 花曇り」

後でパンフレットを見ると自刃の間と伝えられた部屋があると紹介されていたが見逃してしまったのは残念である。

記念写真を撮り、再び西国街道を西へと進む。

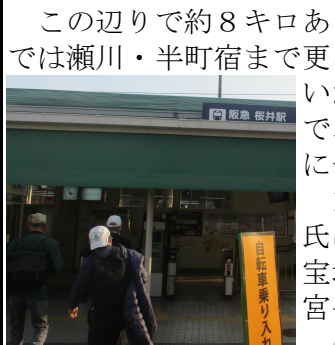


(松尾、名越、濱田、安德、牛丸) 萱野三平旧邸の直ぐ近くに芝村の高札場跡があり立札が立っていたが殆ど判読不能。(左)

そこから約1キロ半位の所に牧落の高札場跡がある。(右) 西国街道と箕面街道が交差する場所で2本の道標が立っている。



この辺りで約8キロあるいたことになる。当初予定では瀬川・半町宿まで更に2キロ歩かなくてはならないがかなり疲れも見えてきたので、阪急箕面線桜井駅から帰路につくことにする。(左)



15:04発の電車に乗車、松尾氏は梅田へ、濱田氏は石橋から宝塚方面へ、後の三人は神戸三宮へとそれぞれ向かった。

牛丸氏からの後日のコメント 道中の屋敷街の佇まいが歴史を感じさせる趣があり、素晴らしかった。歩数は20870歩でした。因みに筆者の歩数は24760歩でした。次回はいよいよ兵庫県伊丹市に入ります。参加待っています。名越







